

ゴア® バイアバーン® スtentグラフト

血管損傷治療

保険適用に関するお知らせ

■ 特定保険医療材料 機能区分

191 末梢血管用stentグラフト

(1)標準型 322,000円 注：stentグラフト長2.5 cm-15 cmタイプ

■ 関連手技料

・血管損傷治療

K561 stentグラフト内挿術

1 血管損傷の場合 43,830点 注：腸骨動脈以外の血管損傷の場合

2 1以外の場合

ハ 腸骨動脈 43,830点 注：腸骨動脈の血管損傷の場合

令和6年6月1日時点

特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項*

191 末梢血管用stentグラフト

- 末梢血管用stentグラフトは、関連学会の定める適正使用指針(次頁参照)に従って使用した場合に限り、算定できる。
- 末梢血管用stentグラフトの使用に当たっては、診療報酬明細書の摘要欄にその理由及び医学的な根拠を詳細に記載すること。

* 令和6年3月5日保医発 0305第8号 出典：厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001219123.pdf>) を加工して作成。

販売名：ゴア® バイアバーン® stentグラフト 承認番号：22800BZX00070000 一般的名称：ヘパリン使用中心循環系stentグラフト

血管損傷に対するゴア® バイアバーン® スtentグラフトの適正使用指針

日本IVR学会、日本脈管学会、日本血管外科学会、日本心臓血管外科学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本救急医学会、日本外傷学会

適応と実施条件

1. 適応

参照血管径4.0～12.0mmの胸部・腹部・骨盤内の動脈に外傷性又は医源性血管損傷が生じ、止血困難な血液漏出のある患者の緊急処置に用いる。(但し、大動脈、冠動脈、腕頭動脈、頸動脈、椎骨動脈及び肺動脈は除く)

ランディングゾーンが2cm以上あり、重要な分枝を閉塞する危険性がない。

2. 施設要件

- ① 血管造影室あるいは血管撮影装置を備えた手術室を有し、救急体制が整っている。
- ② スtentグラフト留置術、血管塞栓術、外科手術のいずれにも対応可能である。
- ③ 治療困難、合併症、不具合等に備え、緊急手術が可能、あるいは可能な施設と常時連携できる。

3. 術者要件

- ① IVR専門医、心臓血管外科専門医、血管外科学会認定血管内治療医、心血管インターベンション認定医、脈管専門医あるいはこれに準ずる経験を有する。
- ② 原則として血管内治療を100例以上施行している、あるいはその医師の指導のもとに行う。なお、腹部内臓動脈・腎動脈における血管損傷を治療する場合には、血管内治療100例のうち、血管塞栓術を20例以上施行していることが望ましい。
- ③ 企業の行う教育コースを受講している。

留意点

1. 本品には側枝閉塞等のリスクがあることを踏まえ、血管損傷に対する他の既存治療の適応も考慮し、患者にとって最善の治療戦略を立てること。
2. 本品を用いた治療の長期有効性は確立されておらず、安全情報も十分でないことを踏まえ、治療後の観察を十分に行い、適切に対処すること。また実施医療機関および実施者は、本治療機器の調査や研究に積極的に協力し、特に本品の不具合、有害事象は積極的に報告すること。